

第34回中国ミニバスケットボール交歓大会（鳥取大会）に参加して

牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子
キャプテン 宮本 拓実

山口県代表チームとして中国大会に参加するため、朝早くバスに乗って鳥取市に向けて出発しました。最初に着いた鳥取砂丘は、とても広く感動しました。6時間もバスに乗って疲れていましたが、広い砂丘を走り回りとても楽しかったです。そのあと、鳥取県民体育館に向かい開会式に参加しました。とても広い会場に中国地区から勝ち抜いた強そうなチームがたくさんいて、とても緊張しました。

大会2日目の予選リーグは、開会式以上に緊張したまま1試合目を迎えました。相手は島根県代表チームでしたが、スタートからミスを重ねてしまい、自分たちのいつも通りの動きが出来ませんでした。最後に4点差まで追い上げましたが、とてもくいが残る負け方をしてしまいました。決勝トーナメントへの出場権がなくなり、とてもくやしかったけれど、気持ちを切りかえ、鳥取県代表チームと試合をしました。前半でかなり差をつけてリードしていましたが、後半はミスが多くなり、追い上げられる場面もありましたが、最後はチーム全員が出場して勝つことが出来ました。

その日の夜は、ホテルで今日の試合の反省会をして、明日はこれまで練習してきた自分達のバスケットを思いきってやろうと話し合いました。そして、ぼくたちの試合を応援してくれた山口県代表の光ウィングスの選手たちが、同じホテルに宿泊していたのでとても仲良くなり、とても楽しかったです。

最終日の交流戦は、岡山県代表チームと対戦しました。会場や試合の雰囲気にも慣れて自分たちのプレーをすることができたので、相手の強い当たりにも負けずに勝つことができました。

この中国大会での結果は2勝1敗で、ぼくたちの目標を達成することができませんでしたが、とても良い経験となりました。これからもバスケットがさらに楽しくなるようにがんばっていこうと思いました。

これまで、熱心に指導していただいたコーチや、いつもぼくたちを支えてくれた家族にとっても感謝したいと思っています。また、たくさんの方々に、はげましの言葉をかけていただいたり、応援をしていただいて、とてもうれしく、とても感謝しています。本当にありがとうございました。



第34回 中国ミニバスケットボール交歓大会 (鳥取大会)

《 結果報告 》

予選リーグ (12/27)

牟礼中央 36—40 法吉 (島根県)

牟礼中央 69—50 湖山西 (鳥取県)

交流戦 (12/28)

牟礼中央 42—25 伊島 (岡山県)

第34回 中国ミニバスケットボール交歓大会（鳥取大会）

出場報告書

会場：鳥取県民体育館（コカ・コーラウエストスポーツパーク）

期日：平成26年12月26日（金）～28日（日）

牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子 コーチ 佐藤 清

チームとして10度目、自分自身の指導としては7度目の中国大会出場となった今大会。指導者としていろんな意味と想いを背負っての出場でした。県内のミニバスに携わる誰もが夢見、目標とする全国・中国・全関西大会と、その中の一つ中国大会出場は、現キャプテンの宮本くんが連れてきてくれました。

思い起こせば2年前、ほぼ中国大会出場は確実とされていた地元開催での予選グループでまさかの敗退…この時4年生で出場していた宮本くんが涙していたことは鮮明に覚えています。翌年も高身体能力に恵まれた先輩メンバーに混じり5年生ながらベスメンとチームの主力として挑みましたが、チームの力を半分も出せぬまま敗退…本人も足の故障（成長痛 後から話）を抱えてのプレーで力発揮できず又しても悔やむ結果に。後がない最後の挑戦となった今期は、宮本くんの積年の思いと他ならぬ努力、そして仲間の一人一人が同じ目標に向かい精進し掴み取った賜物でした。

県No.1での全国大会出場は無理でしたが、今大会で1位となれば全国大会出場の枠があり、再度全国への挑戦となりました。中国大会初戦は、大会独特のプレッシャーに吞まれ自分との戦いで苦戦し、終盤に持ち直すも時すでに遅そしで敗退となりました。

一戦目で夢は途絶えましたが、二試合目は大差となったことから、控え選手も全員出場し5年生以下新チームのメンバーが経験できたことは財産となりました。この経験が先につながることを願います。

最終日の交流戦、選手らは1日目とは違い本来の力を存分に発揮し勝利することができました。

2勝1敗でしたが、この1敗が重大な試練だと思い、同じ過ちを繰り返さぬよう6年生は卒団まで、新チームも先輩の思いを受け継ぎ勇猛精進して欲しいと思います。そしてたくさんの関係者の皆様、大変ありがとうございました。

今大会参加にあたり気づき感じるがありました。『友情！・ほほえみ！・フェアプレイ！』の精神のもと…選手の健全育成を全国共通で行われていると思います。チームが、指導者が、審判が、ミニ連組織が…どのように取り組み日頃の活動や大会等、尽力を費やしているのか？自分も一指導者として真剣に取り組む微力ながらも日々精進しています。

その中で山口県ミニ連全体が取り組み活動している様が厳しい？！ながらも、いろんな面で率先し良好に向かえるよう努力していると思います。県内では気づけない経験として知ることが出来ました。

子ども（選手）にミニバスの精神がより良い効果を得て、楽しく活動できるようにとの思いを、指導者を始め携わる方々に、自分なりに伝え浸透して欲しいと思うとともに、これからも指導の方頑張ろうと思います。

以上



【 鳥取砂丘にて 】